

令和4年度年間授業計画

教科:地理歴史 科目:地理総合 校内科目名:地理総合
 教科担当者: 佐藤 義弘 瀬原 大樹

対象年次: 1

2単位

使用教科書・教材

教科書

「新地理総合」 帝国書院

「新詳高等地図」 帝国書院

補助教材

「最新地理図表GEO」 第一学習社

「新地理総合ノート」 帝国書院

	指導内容	指導目標	評価の観点・方法	予定授業時数
1 学期	<1学期> ○地図と地理情報システム ・地球上の位置と時差 ・地図の役割と種類 ○結びつきを深める現代世界 ・現代世界の国家と領域 ・グローバル化する世界 ○生活文化の多様性と国際理解 ・世界の地形と人々の生活 ・世界の気候と人々の生活	○さまざまな地理情報について、地図や地理情報システム(GIS)などを活用してその情報を収集し、読み取り、まとめる基本的な技能を身に付けるとともに、これらの活動を通して、地図やGISの役割や有用性などについて理解させる。 ○地図の読図などを基に、日本の位置と領域、国内やグローバル化した世界における国家間の結びつきなどについて理解させる。 ○人々の生活文化が気候や地形などの地理的環境から影響を受けたり、与えたりして多様性をもっていることを理解し、自他の文化を尊重する態度を養う。	評価の観点 1. さまざまな地理的事象に関する知識・技能を身に付けることができたか。 2. さまざまな地理的事象について多面的・多角的に考察し、表現することができたか。 3. 主体的に学習に取り組むことができたか。 評価の方法 定期試験、提出物、授業態度等から総合的に判断して評価する。	24
2 学期	<2学期> ○生活文化の多様性と国際理解 ・世界の言語・宗教と人々の生活 ・歴史的背景と人々の生活 ・世界の産業と人々の生活 ○地球的課題と国際協力 ・地球環境問題 ・資源・エネルギー問題 ・人口問題 ・食料問題 ・都市・居住問題	○言語や宗教、歴史的背景、産業の発展などが人々の生活に与える影響について理解させる。 ○世界でみられる地球環境問題・資源エネルギー問題などの地球的課題について、持続可能な社会づくりなどに着目しながら、それらの現状・要因を理解するとともに、解決の方向性について多面的・多角的に考察し、表現させる。	評価の観点 1. さまざまな地理的事象に関する知識・技能を身に付けることができたか。 2. さまざまな地理的事象について多面的・多角的に考察し、表現することができたか。 3. 主体的に学習に取り組むことができたか。 評価の方法 定期試験、提出物、授業態度等から総合的に判断して評価する。	28
3 学期	<3学期> ○自然環境と防災 ・日本の自然環境 ・地震・津波と防災 ・火山災害と防災 ・気象災害と防災 ・自然災害への備え ○生活圏の調査と地域の展望	○我が国は世界的にも多くの自然災害がみられる地域であることを、地形や気候の分野などで学習したことと関連付けながら理解させる。その上で、身近な地域で起こり得る自然災害について、ハザードマップや地理院地図などを活用しながら、地域の自然・社会環境の特色をふまえた適切な備えや対応方法について多面的・多角的に考察し、表現させる。 ○身近な地域の地理的な課題について、持続可能な社会づくりの観点から、解決に求められる取り組みなどについて多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。	評価の観点 1. さまざまな地理的事象に関する知識・技能を身に付けることができたか。 2. さまざまな地理的事象について多面的・多角的に考察し、表現することができたか。 3. 主体的に学習に取り組むことができたか。 評価の方法 定期試験、提出物、授業態度等から総合的に判断して評価する。	18
			合計	70

令和4年度年間授業計画

教科:地理歴史 科目:歴史総合 校内科目名:歴史総合

対象年次:1

2単位

教科担当者: 佐藤 義弘 西田 玲奈

使用教科書・教材

教科書

「歴史総合」(実教出版)

補助教材

配布プリント等

	指導内容	指導目標	評価の観点・方法	予定授業時数
1 学期	<p><1学期>近代化と私たち</p> <p>○近代化への胎動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代の日本と東アジア世界 <p>○欧米の市民革命と「西洋の衝撃」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英産業革命と米独立戦争、仏革命とウィーン体制 ・アメリカ合衆国の発展とラテンアメリカの独立 ・アヘン戦争と日本の開国と滅亡 <p>○欧米諸国と日本の国民国家形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英・仏の繁栄と伊・独の統一 ・明治政府の諸改革、日本のアジア外交と国境問題 ・自由民権運動と大日本帝国憲法 <p>○帝国主義の時代</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮をめぐる国際関係と日清戦争、日清戦争後の東アジア ・日露戦争と東アジアの変動、日本の産業革命 	<p>○文書や図などの資料を活用して、日本の近代化や国際秩序の変化の様子を理解させる。</p> <p>○資料から情報を読み取ったりまとめたりして、近代化に伴う生活や社会の変容について考察して理解させる。</p> <p>○アジア諸国とその他の地域を比較し、政治変革の特徴や社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>○帝国主義の背景やアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、アジア諸国に関連付けて列強間の関係や変容を多面的・多角的に考察し、表現させる。</p>	<p>評価の観点</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. さまざまな歴史的事象に関する知識・技能を身に付けることができたか。 2. さまざまな地理的事象について多面的・多角的に考察し、表現することができたか。 3. 主体的に学習に取り組むことができたか。 <p>評価の方法</p> <p>定期試験、提出物、授業態度等から総合的に判断して評価する。</p>	22
2 学期	<p><2学期>国際秩序の変化や大衆化と私たち</p> <p>○第一次世界大戦と大衆社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦とロシア革命・ソ連の成立 ・米騒動とデモクラシー ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制 ・アジアの民族運動 ・第一次世界大戦後の欧米諸国 ・ひろがる社会運動と普通選挙の実現 <p>○経済危機と第二次世界大戦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌と各国の対応 ・ファシズムの時代 ・満洲事変・軍部の台頭と日中戦争・戦時体制 ・第二次世界大戦の勃発と終戦 ・国際連合の成立と冷戦 ・日本占領と日本 	<p>○第一次世界大戦の展開とその影響や日本の参戦の背景と影響について、日本とその他の国や地域の動向を比較したり相互に関連付けたりして、社会の変容などを多面的・多角的に考察し、理解させる。</p> <p>○第二次世界大戦の推移とその影響について、日本とその他の国や地域の動向を比較したり相互に関連付けたりして、現代の諸課題の形成に関わる国際秩序の変化を理解させる。</p>	<p>評価の観点</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. さまざまな歴史的事象に関する知識・技能を身に付けることができたか。 2. さまざまな地理的事象について多面的・多角的に考察し、表現することができたか。 4. 主体的に学習に取り組むことができたか。 <p>評価の方法</p> <p>定期試験、提出物、授業態度等から総合的に判断して評価する。</p>	28
3 学期	<p><3学期>グローバル化と私たち</p> <p>○冷戦と脱植民地化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植民地の独立 ・米ソ両陣営の動揺 ・日本の国際社会復帰と高度経済成長 <p>○多極化する世界</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石油危機と世界経済 ・緊張緩和から冷戦の終息 ・日本の経済大国化 <p>○グローバル化と現代世界</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域紛争と対立 ・国際秩序の変容 	<p>○冷戦と国際関係について、脱植民地化や地域紛争、先進国の政治の動向に着目し、諸資料を活用させて現代に通ずる課題を追究し、理解させる。</p> <p>○石油危機やアジア諸地域の経済発展、市場の解放と経済の自由化、情報通信技術の発展を基に社会の変容と課題を理解させる。</p> <p>○グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、表現させる。</p>	<p>評価の観点</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. さまざまな歴史的事象に関する知識・技能を身に付けることができたか。 2. さまざまな地理的事象について多面的・多角的に考察し、表現することができたか。 5. 主体的に学習に取り組むことができたか。 <p>評価の方法</p> <p>定期試験、提出物、授業態度等から総合的に判断して評価する。</p>	20
			合計	70

令和4年度年間授業計画

教科:地理歴史 科目:日本史B 校内科目名:日本史B

対象年次:2

3単位

教科担当者: 白土 直人 瀬原 大樹

使用教科書・教材

教科書

「詳説日本史B」(山川出版社)

資料集

「新詳日本史」(浜島書店)

配布プリント等

問題集「ステップアップ日本史」(啓隆社)

	指導内容	指導目標	評価の観点・方法	予定授業時数
1 学期	<p><1学期></p> <p>1 原始・古代</p> <p>(1) 日本文化のあけぼの</p> <p>(2) 律令国家の形成</p> <p>(3) 貴族政治と国風文化</p> <p>2 中世</p> <p>中世社会の成立</p> <p>武家社会の成長</p> <p>3 近世</p> <p>幕藩体制の確立</p> <p>幕藩体制の展開</p>	<p>原始・古代か近世前期までの日本の歴史を、政治・外交・社会経済及び文化史全般にわたり総合的に学習させる。とくに、年間を通じて近現代を重視して、基礎的な知識を身につけ、理解力・応用力を育てる。</p>	<p>評価の観点</p> <p>1 歴史的事象の基礎的・基本的知識の理解</p> <p>2 歴史資料(特に史料)の読解</p> <p>3 日本史を積極的に学ぶ姿勢</p> <p>評価の方法</p> <p>定期考査、授業態度、課題提出状況等を総合的に評価する。</p>	33
2 学期	<p><2学期></p> <p>(3) 幕藩体制の動揺</p> <p>4 近代</p> <p>(1) 開国と幕末の動乱</p> <p>(2) 明治維新と富国強兵</p> <p>(3) 立憲国家の成立と日清戦争</p> <p>(4) 日露戦争と国際関係</p> <p>(5) 近代産業の発展</p> <p>(6) 第一次世界大戦と日本</p> <p>(7) ワシントン体制と政党政治</p> <p>(8) 恐慌の時代</p> <p>(9) 軍部の台頭</p>	<p>近世後期から近代までの日本の歴史を、政治・外交・社会経済及び文化史全般にわたり総合的に学習させる。明治維新をとおして急速に近代化を遂げていった過程を通史的に捉えさせる。また、小テストなどを行い、知識の定着を図る。</p>	<p>評価の観点</p> <p>1 歴史的事象の基礎的・基本的知識の理解</p> <p>2 歴史資料(特に史料)の読解</p> <p>3 日本史を積極的に学ぶ姿勢</p> <p>評価の方法</p> <p>定期考査、授業態度、課題提出状況等を総合的に評価する。</p>	42
3 学期	<p><3学期></p> <p>(10) 第二次世界大戦と日本</p> <p>5 現代</p> <p>(1) 占領下の日本</p> <p>(2) 高度成長の時代</p> <p>(3) 現代の世界と日本</p>	<p>昭和史を学習するにあたり、軍部による政治的な権力掌握の経緯をとらえさせる。学習の手だてとして、調べ学習や発表の活動時間を設け、学びあいを通じて他者理解や表現力を育ませる。</p>	<p>評価の観点</p> <p>1 歴史的事象の基礎的・基本的知識の理解</p> <p>2 歴史資料(特に史料)の読解</p> <p>3 日本史を積極的に学ぶ姿勢</p> <p>評価の方法</p> <p>定期考査、授業態度、課題提出状況等を総合的に評価する。</p>	30
			合計	105

令和4年度年間授業計画

教科: 公民 科目: 政治・経済 校内科目名: 政治・経済
 教科担当者: 小林 正伸

対象年次: 2

2単位

使用教科書・教材

教科書

「政治・経済」(東京書籍)

資料集

「最新政治・経済資料集2021」(第一学習社)

配布プリント等

	指導内容	指導目標	評価の観点・方法	予定授業時数
1 学期	<1学期> <中間考査まで> 1 現代の政治 (1) 民主政治の基本原則 ① 民主政治の成立 ② 法の支配 ③ 基本的人権の確立 ④ 現代の民主政治 ⑤ 世界の主な政治体制 (2) 日本国憲法の基本原則 ① 日本国憲法の制定と基本原則 <期末考査まで> ② 基本的人権の保障 ③ 平和主義 (3) 日本の政治機構 ① 国会と立法 ② 内閣と行政	民主主義に関する理解を深め、現代における政治について客観的・多角的・総括的に理解できるようにする。また、それに関連する諸事象、諸問題を扱うことによって、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を身につける。	1 授業への取り組み及び意欲 2 基本的な知識・事柄の理解 3 時事問題への関心及び理解 4 定期考査の合計点 5 小テストの合計点 6 課題・プリントの内容と提出状況	22
2 学期	<2学期> <中間考査まで> ③ 裁判所と司法 ④ 地方自治 (4) 現代政治の特質と課題 ① 戦後政治と政党 ② 選挙と政治意識 ③ 世論と政治参加 <期末考査まで> (5) 現代の国際政治 ① 国際関係と国際法 ② 国際社会の組織化と変容 ③ 国際政治の動向 ④ 国際政治の課題 ⑤ 地球環境と資源・エネルギー問題 ⑥ 国際社会での日本の役割	日本における政治体制と、世界における国際関係などについて広い視野から考察できるようにする。平和や安全な社会について、自ら考え意見を持てるようにする。	1 授業への取り組み及び意欲 2 基本的な知識・事柄の理解 3 時事問題への関心及び理解 4 定期考査の合計点 5 小テストの合計点 6 課題・プリントの内容と提出状況	28
3 学期	<3学期> 2 現代の経済 (1) 現代の資本主義経済 ① 資本主義体制の成立と発展 ② 現代経済の特質 (2) 現代経済のしくみ ① 経済主体と経済の循環 ② 生産のしくみと企業	現代における経済について、基本的なものの見方考え方を培う。経済に関連する諸事象、諸問題を扱い、経済に関する意欲を高める。	1 授業への取り組み及び意欲 2 基本的な知識・事柄の理解 3 時事問題への関心及び理解 4 定期考査の合計点 5 小テストの合計点 6 課題・プリントの内容と提出状況	20
			合計	70

令和4年度年間授業計画

教科:公民 科目:倫理 校内科目名:倫理
 教科担当者:小林 正伸 佐藤 義弘

対象年次:3

2単位

使用教科書・教材

教科書

「高校倫理」(実教出版)

資料集

「テオーリア 最新倫理資料集」(第一学習社))

配布プリント等

	指導内容	指導目標	評価の観点・方法	予定授業時数
1 学 期	<1学期> <中間調査まで> 1 青年期の発達とその諸問題 (1) 青年期の特徴と心理 (2) 現代の青年と自己探求 (3) 欲求と適応機制 (4) アイデンティティの模索と青年期の課題 <期末調査まで> 2 源流思想 古代ギリシアの哲学・思想 キリスト教の成立と展開(イスラム教含む)	・哲学・倫理・宗教など先哲の思想を学ぶことを通じて今の自分を見つめ直させる。 ・社会の中で如何に生きるべきかというテーマを柱に在り方生き方について思索させる。 ・現在と将来に向けてより豊かな人生を生きるための思索を深めさせる。	1 興味・関心を持ち、意欲的に授業に臨んでいるか。 2 基本的な概念を理解し、知識として身につけることができたか。 3 身につけた知識を利用して、自己を省み、思索を深める態度が形成されているか。 4 上記1～3を定期考査、提出物、発表状況、出席状況を踏まえて評価する。	22
2 学 期	<2学期> <中間調査まで> 古代インドの思想(仏教の成立と展開) (4) 古代中国の思想(儒家思想・道家思想他) <期末調査まで> 3 近現代の西洋思想 (1) ルネサンスと宗教改革 (2) 近代科学の成立とその考え方 (3) モラリストと啓蒙主義 社会契約説と市民革命 (5) ドイツ啓蒙主義と観念論	・哲学・倫理・宗教など先哲の思想を学ぶことを通じて今の自分を見つめ直させる。 ・社会の中で如何に生きるべきかというテーマを柱に在り方生き方について思索させる。 ・現在と将来に向けてより豊かな人生を生きるための思索を深めさせる。	1 興味・関心を持ち、意欲的に授業に臨んでいるか。 2 基本的な概念を理解し、知識として身につけることができたか。 3 身につけた知識を利用して、自己を省み、思索を深める態度が形成されているか。 4 上記1～3を定期考査、提出物、発表状況、出席状況を踏まえて評価する。	28
3 学 期	<3学期> (6) イギリス功利主義 (7) 社会主義の思想 (8) 実存主義思想	・哲学・倫理・宗教など先哲の思想を学ぶことを通じて今の自分を見つめ直させる。 ・社会の中で如何に生きるべきかというテーマを柱に在り方生き方について思索させる。 ・現在と将来に向けてより豊かな人生を生きるための思索を深めさせる。	1 興味・関心を持ち、意欲的に授業に臨んでいるか。 2 基本的な概念を理解し、知識として身につけることができたか。 3 身につけた知識を利用して、自己を省み、思索を深める態度が形成されているか。 4 上記1～3を定期考査、提出物、発表状況、出席状況を踏まえて評価する。	20
			合計	70